

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
5項 水産業費
2目 水産業振興費

水産課(内線:7309)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) とっとり賀露かっこ館施設増築事業	52,733	0	52,733			(諸収入) 49,592	3,141	知事 査定中
トータルコスト	53,320千円 (前年度 0千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	施設増築等に関する設計・施工							
工程表の政策目標(指標)	・県内外での認知度向上 ・賀露周辺施設等と連携した地域の活性化 (年間入館者目標20万人)							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>とっとり賀露かっこ館は、平成15年8月の開館以来既に6年が経過し、施設運営上の様々な問題点が生じていること、また、来館者からは一定の評価(年間入館者数18~20万人)を得ているが、今後も安定的に来館者を確保していくためには、来館者ニーズに的確に対応した魅力向上対策が必要なことから、問題点の解消と新たな魅力創出を図るため、施設増築等を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 体験実習室の拡張(約52㎡増築) 現在の施設が手狭になっており、イベント用のスペースが不足していること及び周辺施設との一体化を図るため、体験実習室の拡張を行う。</p> <p>(2) 水槽展示スペースの確保 来館者のニーズに応じて体験実習室の一部(西側壁面)に水槽設置スペースを設け、循環式水槽(3台)を設置する。</p> <p>(3) ふれあい水槽の増設・周辺床面の滑り止め対策 ふれあい体験の混雑解消を図るため、ふれあい水槽を増設するとともに、床面の滑り止め対策としてマット敷設を拡大する。</p> <p>(4) タッチング・ジオプールの造成 屋外のタッチングプールを山陰海岸をモチーフとしたジオプールに造り替え、新たな魅力を創出する。</p> <p>(5) 屋外倉庫の規模拡大(約20㎡増築) 水槽やイベント用備品などの保管場所が不足していることから屋外倉庫を増築する。</p> <p>3 所要経費 52,733千円(宝くじ施設助成を充当予定)</p> <p>4 これまでの取組状況、改善点 【指標】年間入館者目標 20万人 → 【現状】18.35万人(平成20年度実績) 平成20年度は、栽培漁業対象魚種を紹介した企画展示、芝生広場での移動ミニ遊園地開催等に取り組んだ。(5月には入館者100万人を達成したが、原油高、不景気の影響等もあり入館者数は前年度より低迷した。) 平成21年度は、更なる魅力向上対策の一環として飼育管理を委託している県栽培漁業協会職員を1.5人に増員(従来は1人)した結果、展示の充実が図れた。</p>								